

柏木教会月報

12月号

東京都新宿区北新宿3-1-18

☎03-3368-2156

牧師 大浦 勝

希望の源である神

ローマの信徒への手紙一五章四～一三節

牧師 大浦 勝

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださるように。

(一三節)

キリストの誕生は母マリアにとつて思いがけないことがあった。「あなたは身ごもつて男の子を産む」と告げた天使に対し、マリアは「どうして、そのようなことがありえましようか」と答えている(ルカ一・三〇、三四)。父ヨセフにとつても、婚約者マリアが身ごもるということは、受け入れることができないことであり、彼はひそかに縁を切ろうとした(マタイ一・一九)。しかし、彼らは共に自分たちに向かつて語られた神の言葉を信じ、その言葉に自分自身を委ね、こうして御子を救い主としてこの世界にお送りくださる神のみわざに仕える者となつた(ルカ一・三八、マタイ一・二四)。

神のみわざはわたしたちにとって常に驚きであり、思ひがけないことである。預言者イザヤによれば、救い主は「エッサイの株から」生れる(イザヤ一一・一)。「株」とは切り倒された木のあとに残る切り株である。ダビデの王家はその背信と不正のために、さばきを受けて切り倒され、もはや消滅するほかないと見えた。しかし、そ

の切り株から、平和をもって全世界を治める王が起ころ。ダビデと永遠の契約を結ばれた神の真実が、わたしたちは不可能と見えることを可能にするのである。

神はご自分が行なわれることを、聖書によってあらかじめわたしたちに告げておられる。わたしたちが信じて待ち望み、その希望の中を生きるようになるためである。

神はご自分が語られたことを成就し、約束を実現される方であるから、わたしたちは信じて待ち望む。聖書はわたしたちが希望を持ち続けることができるよう、わたしたちを教え導く(四節)。キリストは神の永遠の救いの計画に従つてこの世界に来てくださったのであり、これによって、神がイスラエルの先祖たちにお与えになつた約束を確証された(八節)。キリストによって神の言葉は成就し、約束は実現された。また、成就され、実現されたわたしたちはその希望の中を生きる。わたしたちはその希望の中を生きる。わたしたちはその希望の中を生きる。

聖書が与える希望はわたしたちを欺くことがない(ロ

ーマ五・五)。常に眞実であり、また、眞実を貫かれる神がわたしたちの希望の源だからである。将来についての確かな希望があるとき、わたしたちは困難の中にはつつことができる。神は確かにみ言葉を成就し、約束を実現される。それゆえ、わたしたちは信じて待ち望む。

「わたしたちは、このような希望によって救われているのです。見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです」(ローマ八・二四～一五)。